

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 13 週(3 月 24 日～ 3 月 30 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	7.52	(14.54)	↓	↓	↘	↘
2	感染性胃腸炎	3.53	(2.79)	→	→	→	↗
3	水痘	1.24	(1.06)	↗	↑	↗	→
4	咽頭結膜熱	0.56	(0.41)	↑	↑↑	→	→
5	A群溶連菌咽頭炎	0.53	(0.94)	↘	↘	↓	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

◆ 今後も引き続きインフルエンザにはご注意を

- 例年この時期には減少するインフルエンザですが、葛城保健所管内ではいまだ注意報基準値を越える報告数で推移しています。引き続き外出後の手洗い・うがいを励行し感染予防に努めましょう。インフルエンザにかかった場合は、安静にし、水分や栄養補給、適度な湿度の維持に努め、周りの方への感染防止のためマスクの着用を心掛けましょう。
- インフルエンザワクチンを接種した場合でも、感染することがあります。ワクチンには感染を抑える力はなく、感染後の発症や重症化を抑える働きがあります。つまりワクチン接種により絶対にインフルエンザにかからないというものではなく、ある程度の発症を予防する効果があり、かかった場合でも症状が重くなることを防ぐ効果があります。なお、ワクチンは病原性をなくした不活化ワクチンであるため、接種したワクチンによって発症することはありません。
- これまでのウイルス検査の結果、流行は AH1pdm、AH3、B の混合で始まり、ピーク時を含む注意報発令中は大半が AH1pdm でした。

《参考》インフルエンザ Q&A (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

啓発ツール(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>

◆ 咽頭結膜熱(プール熱)が中部(葛城保健所管内)で増加しています

- 咽頭結膜熱は例年6月ごろから流行が始まり7～8月をピークとしますが、今年は葛城保健所管内で第11週以降(3/10以降)継続して報告数がやや多くなっています。
- 咽頭結膜熱は、アデノウイルスを原因とする感染症で、プールの水を介して感染することがあるため、「プール熱」ともいわれています。症状は高熱、頭痛、まぶたの裏の結膜が充血する等ですが、まれに乳幼児に肺炎を起こすこともあるため注意が必要です。プールを介しての流行では水泳前後のシャワーなどの励行が大切です。一般的には、うがい・手指の石鹸による洗浄とタオルを共有しないことが有効です。

《参考》咽頭結膜熱 Q&A (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou17/01.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 13 週 3 月 24 日 ~ 30 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	406 (7.52)	81 (7.36)	78 (4.88)	61 (5.55)	141 (12.82)	19 (9.50)	26 (8.67)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	16 (0.47)	5 (0.71)	3 (0.30)	4 (0.57)	2 (0.29)	1 (1.00)	1 (0.50)	
咽頭結膜熱	19 (0.56)	1 (0.14)	6 (0.60)	4 (0.57)	8 (1.14)			
A群溶連菌咽頭炎	18 (0.53)	11 (1.57)	3 (0.30)	1 (0.14)	1 (0.14)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	120 (3.53)	30 (4.29)	24 (2.40)	11 (1.57)	45 (6.43)	5 (5.00)	5 (2.50)	
水痘	42 (1.24)	22 (3.14)	7 (0.70)	5 (0.71)	6 (0.86)		2 (1.00)	
手足口病								
伝染性紅斑	3 (0.09)	1 (0.14)	1 (0.10)		1 (0.14)			
突発性発しん	8 (0.24)	3 (0.43)	1 (0.10)	1 (0.14)	3 (0.43)			
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	6 (0.18)	1 (0.14)	1 (0.10)	4 (0.57)				
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎							-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)				-	
マイコプラズマ肺炎							-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)				1 (1.00)	1 (1.00)	-	

上段：報告数
(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 6件(奈良市 2件、郡山 2件、桜井 1件、葛城 1件)
3類感染症	
4類感染症	日本紅斑熱 1件(郡山 1件)
5類感染症	梅毒 1件(葛城 1件)

❖ 第 13 週のトピックス ❖

- ◆ 新型インフルエンザ等対策についてのリーフレット (内閣官房)
<http://www.cas.go.jp/jp/influenza/infpanf01.pdf>
- ◆ タイにおけるデング熱の流行状況について (厚生労働省検疫所FORTH)
<http://www.forth.go.jp/topics/2014/03261100.html>
- ◆ 「ロタウイルス 2010~2013年」などについて (IASR)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男		2	9	13	8	10	12	19	8	14	8	40	5	6	11	14	13	6	4	2	204	5368	
	女		5	7	17	11	17	11	15	12	5	30	10	12	20	15	5	7	3			202	5417	
RSウイルス感染症	男	1	4	2	3	1																11	119	
	女		2	2	1																		5	100
咽頭結膜熱	男			1	4	2	1	5	1	1												15	79	
	女		1	1				1	1													4	66	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2		1	2	2	1		1	4									14	178	
	女			1				1					1	1								4	158	
感染性胃腸炎	男		4	7	6	4	4	5	1	4	1	3	6	3	10							58	1086	
	女	1	4	3	7	10	6	10	3	2		2	5	1	8							62	1019	
水痘	男	1	1		2	6	5	1	2	1	1	1										21	191	
	女	1		4	3	3	3	5	2													21	176	
手足口病	男																						2	
	女																						4	
伝染性紅斑	男						1															1	6	
	女			1		1																2	9	
突発性発しん	男		3		1																	4	52	
	女		4																			4	31	
百日咳	男																							
	女																							
ヘルパンギーナ	男																							
	女																							3
流行性耳下腺炎	男						1	1														2	18	
	女						1	1	1	1												4	18	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							20
流行性角結膜炎	男																							20
	女																							20
細菌性髄膜炎	男																							1
	女																							1
無菌性髄膜炎	男			1																				3
	女																							1
マイコプラズマ肺炎	男																							1
	女																							1
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																				1	10
	女		1																				1	5

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

— H26 ▲ H25 □ H24 — 過去10年平均

